

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

27年6月15日

大分県知事殿

提出者 有限会社大野ファーム
 住 所 大分県豊後大野市三重町小坂2945
 氏 名 代表取締役 後藤祐三
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号0974-22-9047

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 大野ファーム
事業場の所在地	大分県豊後大野市三重町小坂2945
計画期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01農業
② 事業の規模	母豚200頭 育成豚20頭 ♂豚6頭 子豚900頭 肉豚1300頭
③ 従業員数	6人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	豚舎内の集糞ピットよりスクリュウコンベアで運搬用のショベルローダーに搬送し、コンポストに投入2週間かけて発酵させ取り出した後、堆肥舎にて1～2ヶ月間、追熟させた後、農家に販売する。 尿は浄化槽で処理後放流する。 死亡豚はレンダリング業者に委託し処理する。

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
 堆肥化して農家に販売する責任者
 代表取締役後藤祐三

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 状	【前年度（ 26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	生糞	尿
	排 出 量	1 4 2 3 t	1 5 5 2 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 状	【前年度（ 26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	生糞	尿
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1 4 3 2 t	1 5 5 2 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	生糞	尿
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1 4 3 2 t	1 5 5 2 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 状	【前年度（ 26年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	動物の死体
	全処理委託量	16.95 t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	16.95 t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組)	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	16.95 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	16.95 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			